

健都ヘルスサポーター制度を開始

令和4年3月に、健都ヘルスサポーター制度を開始しました。

この制度は、企業や研究機関が開発したヘルスケア関係の製品の試作品などを会員が試し、集めた感想やデータからさらに開発を進めるものです。

市民の健康づくりをサポートすると同時に、企業・研究機関の地域実証事業もサポートすることで、ヘルスケア分野の新製品・サービスを世の中に送り出すことを目的としています。

会員になるには、LINE 公式アカウント「健都ヘルスサポーター」を友だち追加する必要があります。



▲秋フェス in 明和池公園での血管しなやかさ測定（サラヤ株式会社）の体験ブース



▲健都フェスタでの、脳の健康チェック（東和薬品株式会社）の体験ブース

会員登録された方に、企業・研究機関が開発した新製品・サービスの試作品などのお試し情報を通知したり、市民ニーズなどのアンケート調査や健康情報を定期配信しています。

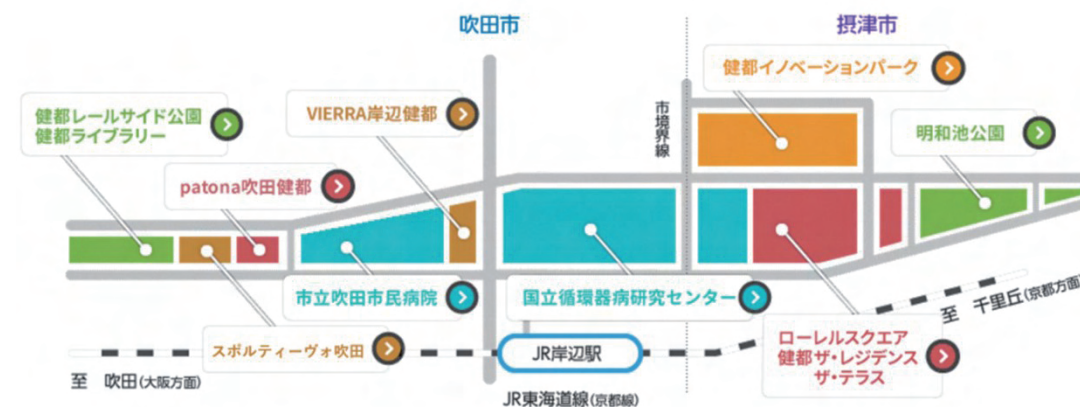
昨年3月に開催した「健都フェスタ」では、東和薬品(株)がゲーム感覚で脳の健康をセルフチェックできる製品の体験会を実施しました。また、11月に開催した「秋フェス in 明和池公園」では、サラヤ(株)が血管のしなやかさを測定できる製品の体験会を実施するなど、市の開催するイベントなどで地域実証事業の体験会を行っています。

地域実証事業の例



摂津市と吹田市の両市にまたがる北大阪健康医療都市（健都）には、現在、西日本唯一のナショナルセンターである国立循環器病研究センターが立地しています。また、国立健康・栄養研究所が、令和5年3月に東京都新宿区から健都イノベーションパークNKビル（千里丘新町）に移転が完了しました。

駅前商業施設（JR 岸辺駅周辺）や公園など、市民が集う場を整備し「実証フィールド」として活用することで「健康・医療」をコンセプトとしたまちづくりを進めていきます。



国立健康・栄養研究所が移転



国立健康・栄養研究所は、国民・人類の健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指した、誰一人取り残さない健康・栄養政策に資するため、さまざまな研究に力を注がれています。食生活や身体活動を通じた生活習慣病一次予防のための研究、健康食品や栄養療法についての各種情報提供など、研究所として期待されている大きな役割をしっかりと果たされるとともに、現状の研究機能が発展・強化されるよう努力を重ねられています。



健都ヘルスサポーターに登録すると…？



新しいヘルスケア製品・サービスを試して健康チェックや健康づくりができる

健康情報を知ることができる

イベントに参加してポイントを貯めるとプレゼントがもらえるかも

企業の新製品開発にあなたの意見を提案できる

摂津市民・吹田市民以外にも参加可能

企業・研究機関が開発した健康関連の新製品、サービスなどを試すことができます。ぜひ友だち追加し、健康への一歩を踏み出しましょう。



登録は
コチラ